

十勝川中流部川づくり案 について

2011年3月4日 第6回十勝川中流部川づくりWS資料

音更川合流点より上流



代替案②の場合、最大30m程度の幅で、低水路の拡幅が必要

川づくり案(第5回)

左岸側の樹木を伐採し、必要な流下断面を確保する。
ただし、河岸の樹林は連続性確保のために10m以上保全する。中洲や河道内の河原は現状のまま維持し、掘削は行わない。



グループ討議意見

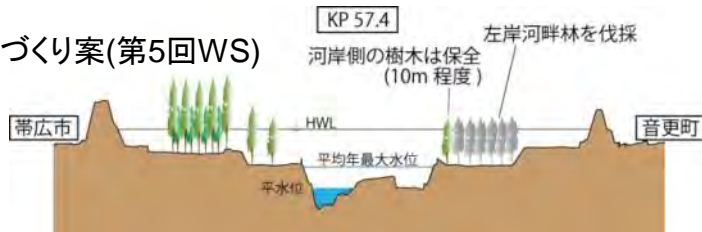
グループ	音更川合流点上流
A	疎林化も考慮
B	樹林保全を検討
C	OK
論点	疎林化と樹林保全を検討



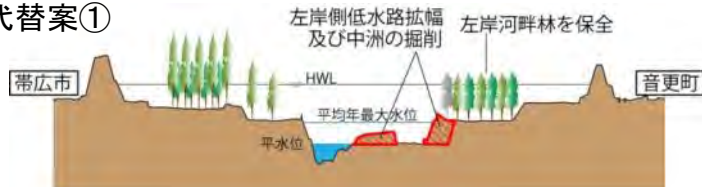
代替案の検討

- ①左岸側の樹木を保全した場合
 - ・左岸側の低水路拡幅（最大30m程度）と中洲などの河原の平水位での掘削が必要。
- ②左岸側の樹木を「疎」にした場合
 - ・十勝大橋より上流部で、最大30m程度の幅で、低水路の拡幅（平水位での掘削）が必要となる。（中洲は保全）

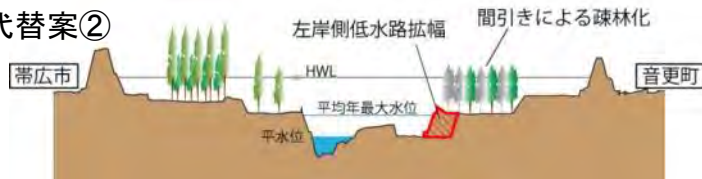
川づくり案(第5回WS)



代替案①

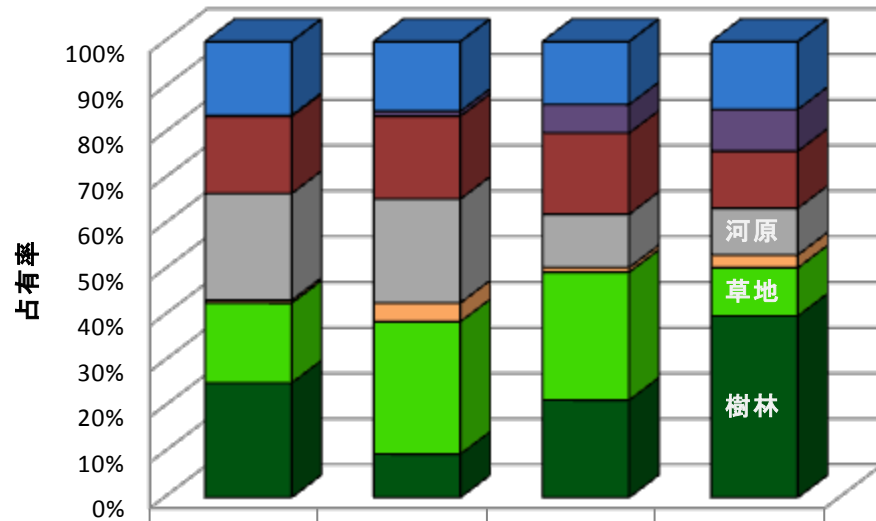


代替案②



十勝川の河道状況の経年変化(KP40~KP99間)

十勝川の河道の経年変化



	1963	1978	1991	2005
■ 水域	574	511	467	493
■ 公園	7	37	211	304
■ 採草地	600	608	603	416
■ 河原	830	763	395	339
■ 裸地	22	138	35	94
■ 草地	621	973	949	351
■ 樹林	891	319	723	1322

(ha)

昭和38年 (1963年)



昭和53年 (1978年)



平成3年 (1991年)



平成17年 (2005年)



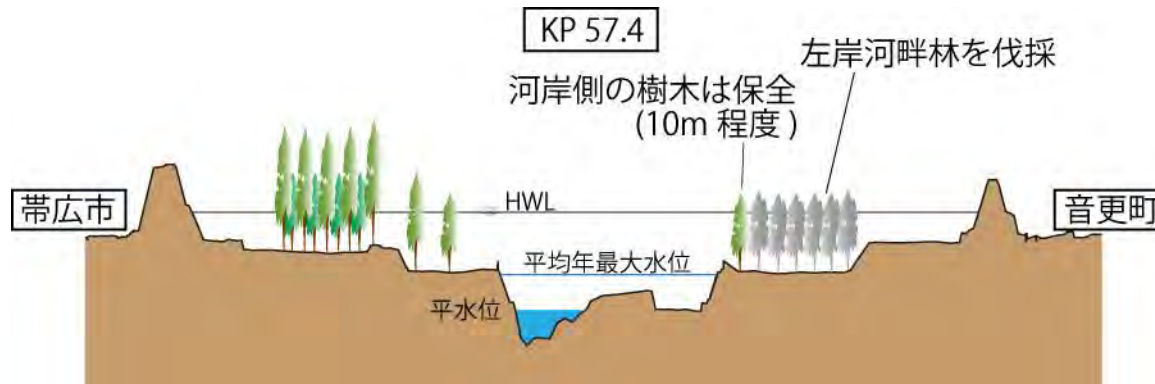
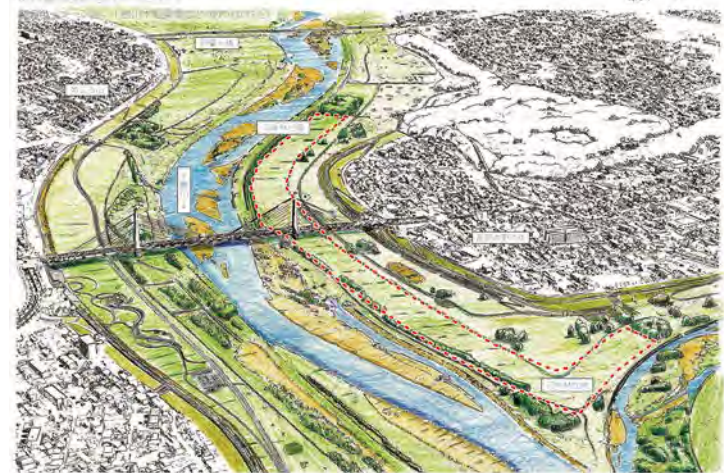
音更川合流点より上流

事務局からの提案

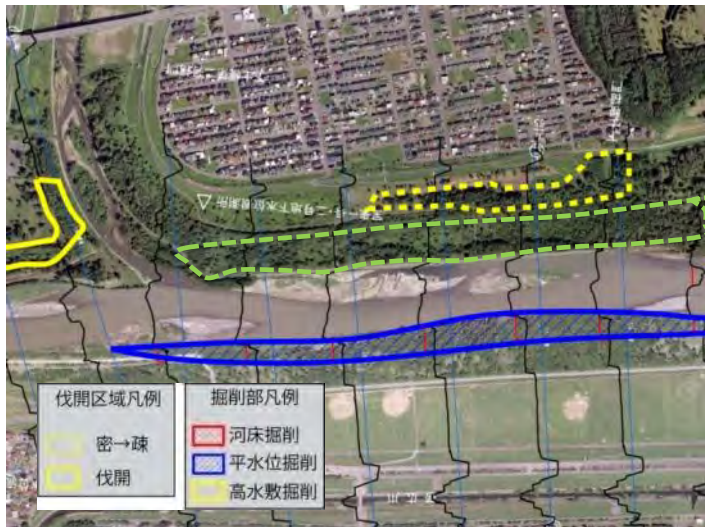
◆河道内の樹木が年々増加傾向にあるのに対し、草原や河原環境が減少傾向にあることから、第5回で提案した「**左岸の樹木を伐採し草原環境とし、河原は保全する案**」を提案したい。



川づくり案(第5回WS)イメージパース



音更川合流点より下流①



川づくり案(第5回)

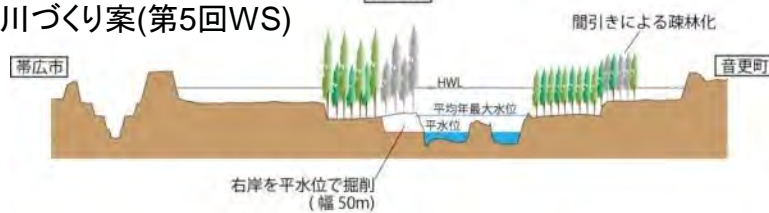
左岸側の樹林を保全し、右岸側を平水位で掘削する。
左岸側の高水敷の樹林を間引きし「疎」にする。

グループ討議意見

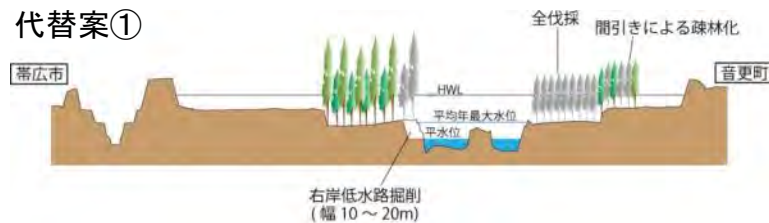
グループ	音更川合流点下流①
A・B	OK
C	<ul style="list-style-type: none"> ・左岸川側の樹木伐採で右岸掘削幅を減少 ・左岸堤防側疎林化
論点	伐採及び掘削方法検討

川づくり案(第5回WS)

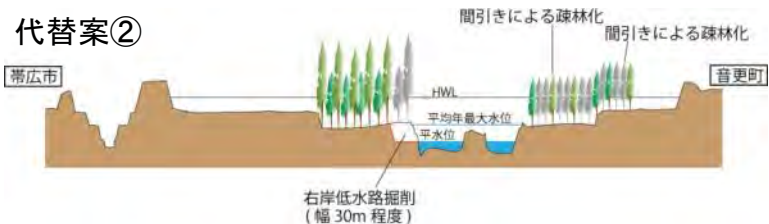
KP 55.0



代替案①



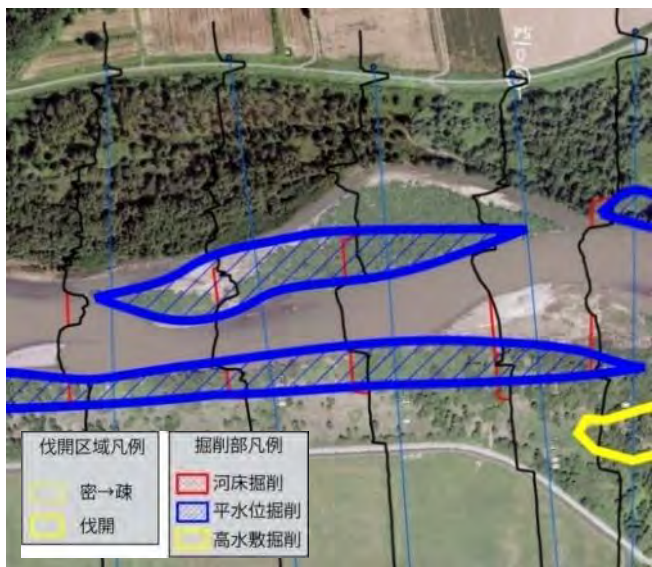
代替案②



代替案の検討

- ①左岸高水敷（黄緑の範囲）の樹木を「全伐採」とした場合
 - ・右岸側の低水路掘削幅を約50mから約10~20m程度に減少することができる。
- ②左岸高水敷（黄緑の範囲）の樹木を「疎」にした場合
 - ・右岸側の低水路掘削幅を約50mから約30m程度に減少することができる。

音更川合流点より下流②



川づくり案(第5回WS)イメージパース



KP 54.4



川づくり案(第5回)

中洲の左岸側半分程度を残して平水位で掘削することで、支流は保全しつつ流下断面を確保する。
併せて、河原環境の形成を図るとともに再樹林化を抑制する。



グループ討議意見

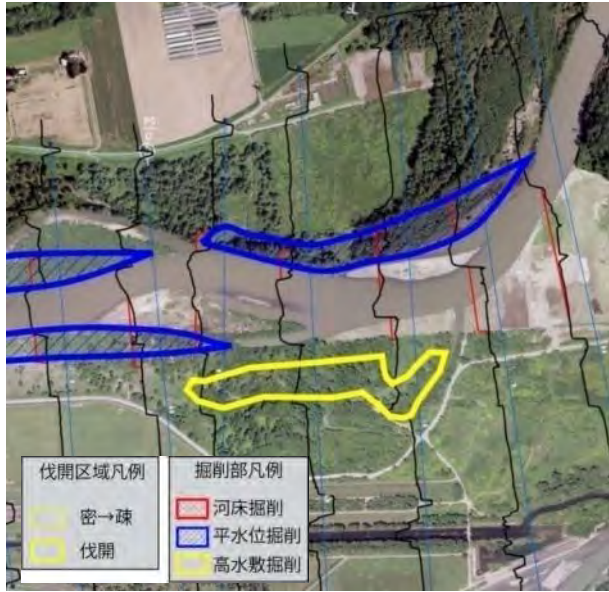
グループ	音更川合流点下流②
A・B	OK
C	—
論点	なし



事務局からの提案

◆第5回WSの川づくり案のとおり。

相生中島より上流



川づくり案(第5回)

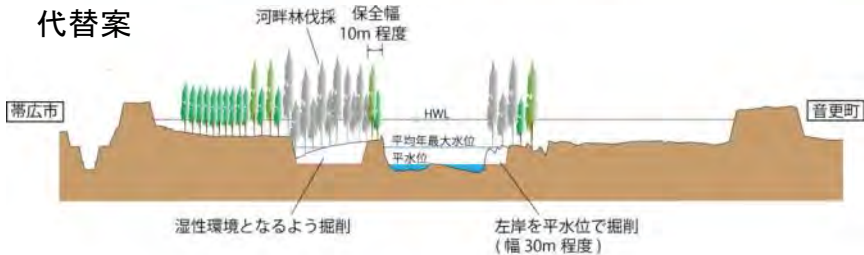
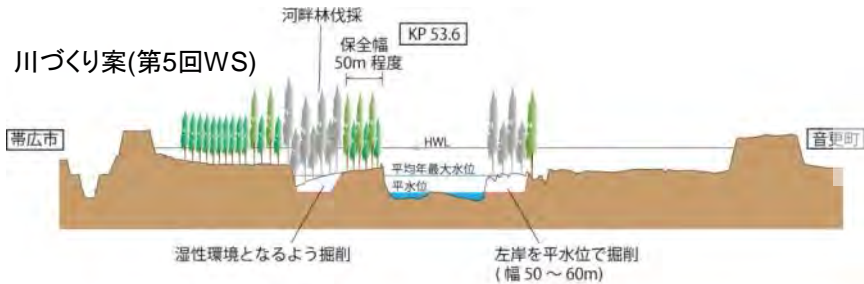
左岸側は樹木の連続性に配慮しつつ、平水位で掘削する。
右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その後背地の樹木を伐採するとともに、再樹林化を防止するために湿性環境を形成する。

グループ討議意見

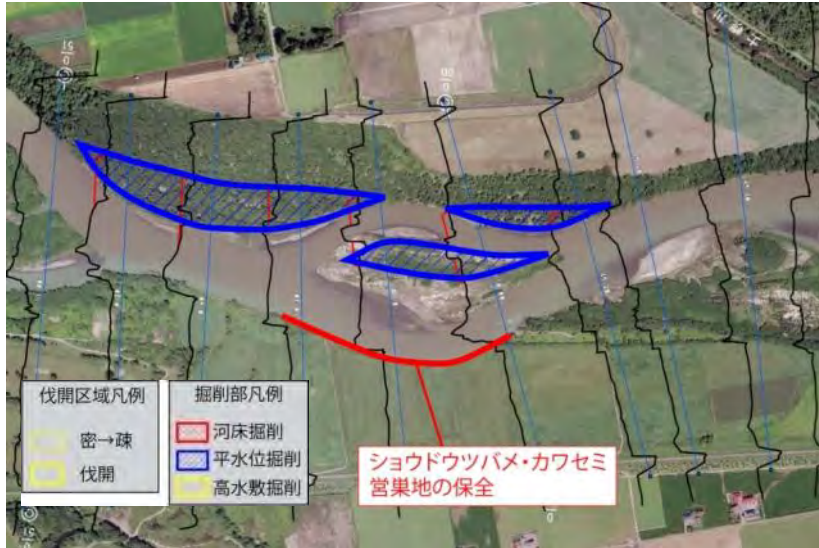
グループ	相生中島上流
A・B	OK
C	右岸樹林保全幅を少なくし、左岸掘削幅を減少
論点	右岸樹林保全幅を検討

代替案の検討

- ◆右岸樹林の保全幅を50mから10mに減した場合
 - ・左岸側の低水路掘削幅を約50~60mから、30m程度に減少することができる。



相生中島より下流



川づくり案(第5回WS)イメージパース



左岸を平水位で掘削

川づくり案(第5回)

中洲については、樹林の成立している部分(中洲の半分程度)を平水位で掘削して流下断面を確保するとともに、河原環境の形成を図り再樹林化を防止する。
右岸側にショウドウツバメの集団営巣地があるため、左岸側を平水位で掘削する。



グループ討議意見

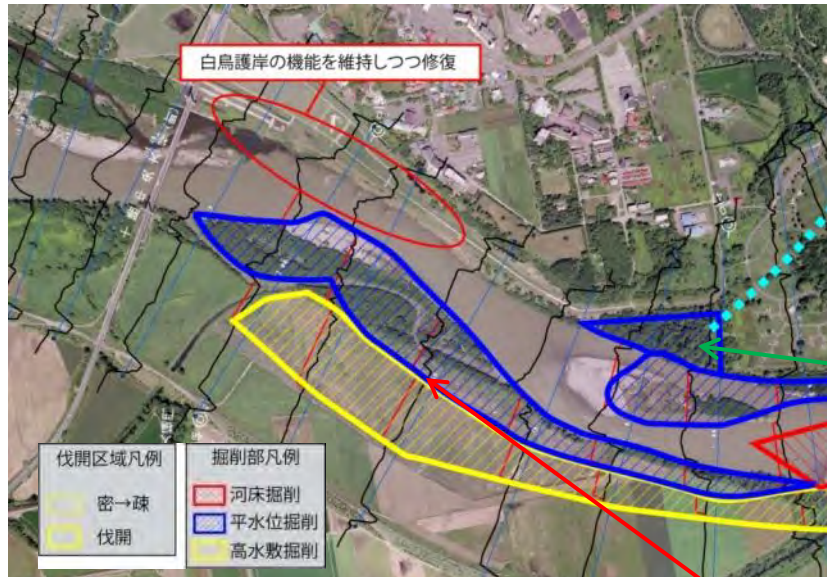
グループ	相生中島下流
A・B・C	OK
論点	なし



事務局からの提案

◆第5回WSの川づくり案のとおり。

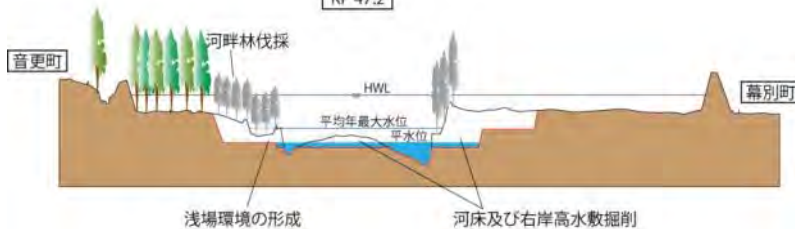
十勝中央大橋より下流



川づくり案(第5回WS)イメージパース



KP 47.2



川づくり案(第5回)

樹林を伐採後掘削して浅場環境を形成する。



グループ討議意見

グループ	十勝川温泉下流
A・B・C	OK
論点	なし



事務局からの提案

◆第5回WSの川づくり案のとおり。

グループ討議意見

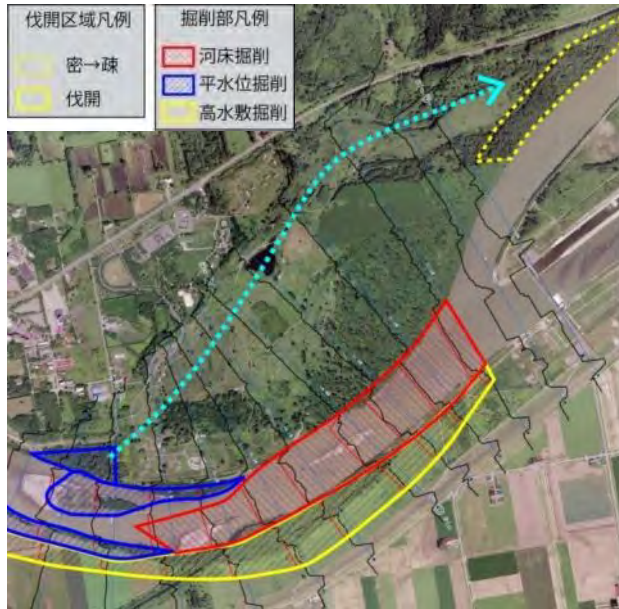
グループ	十勝中央大橋下流
A	OK (エコロジーパーク下流のみ未議論)
B	川側の樹林を保全し その背後の高水敷を掘削
C	OK (白鳥護岸の整備希望)
論点	掘削方法を検討



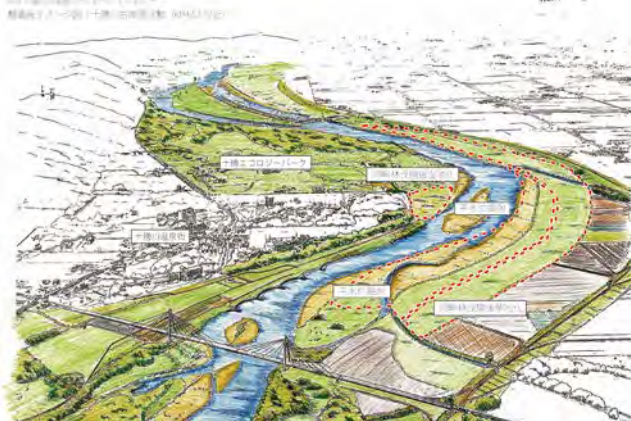
事務局からの提案

◆流下断面確保の観点から、川側の樹林をすべて保全することは困難であるが、関係機関との調整も必要であり、「今後の検討課題」としたい。

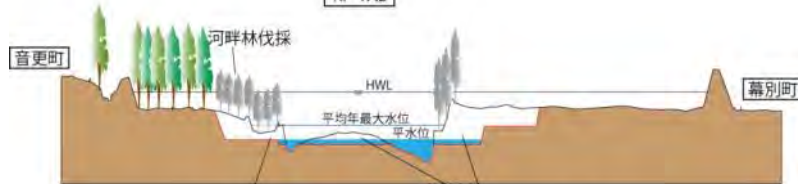
十勝川温泉より下流



川づくり案(第5回WS)イメージパース



KP 47.2



浅場環境の形成 河床及び右岸高水敷掘削

川づくり案(第5回)

樹林を伐採後掘削して浅場環境を形成する。
エコロジーパーク下流の樹林を「密」から「疎」にして洪水時の流れを確保する。



グループ討議意見

グループ	十勝中央大橋下流
A	OK (エコロジーパーク下流のみ未議論)
B	川側の樹林を保全し その背後の高水敷を掘削 関連団体から意見聴取(エコロジーパーク)
C	OK (白鳥護岸の整備希望)
論点	掘削方法を検討



事務局からの提案

- ◆ 流下断面確保の観点から、右岸側の川側の樹林をすべて保全することは困難であり、基本的には第5回WSの川づくり案のとおり。ただし、上流側とのすりつけを考慮する必要がある。
- ◆ エコロジーパーク下流については、第5回WSの川づくり案のとおり。実施にあたっては、現地の状況を確認し関係機関等と調整を進める。